

未来を変えるために

片桐英数塾通信

全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

最高度に、そして自由闊達に！

「このところ、何かと忙しい日々を過ごしております。そのせいもあり、長年書き続けてきておりますこの『片桐英数塾通信』もなかなか思ったように書けず、いまさら、あまり誰からも指摘されないもので、「書けなくて仕方がないか」と、安気に構えておりましたところ、塾生や保護者の方、また一般の方より「最近、塾通信も読めないのだから、さういふようなお問合せを受けることが増えてきて、「ライフワーク」として、これまで十六年間、どんな時も書き続けてきたのだから、大したこと書けなくても、今後ともその時その時で思っていることを素直な気持ちで書いていこう」という思いを強くしています。

そういふわけで、原稿を書こうと、机に向かってみました。今更ながら気が付いたのですが、四月以降、バタバタと、時間を忘れてやっておりまして、もう七月なのですね。いつの間にか一学期の定期試験も終わり、これから夏に突入していく時期になってしまっていました。言うまでもなく、受験学年である、高三生や中三生にとっては、この夏はとても重要な意味を持ちますし、受験学年になる前に、基礎力を今のうちに鍛えておかなければならない高二生や中二生にとっても大事な夏です。それに、高校に進学して、新しく学ぶことに驚きながら過ごしたであろう高一

生、そして初めて順番づけされることに緊張したであろう中一生活にとっても、「やれやれ、やっと一息つける」と思ってしまう期間にもなるかもしれません。夏は一学期でわからなくなっているところを見直すことのできる貴重な期間でもあります。二学期以降のためにも、夏を無駄にしないための計画を今のうちに立てておきましょう。

さて、話は変わりますが、最近、教科書や問題集を指導して感じていたことがあります。それは「不確実な未来」というような表現が増えてきていることです。たしかに、最近では至る所で「不確実性」という言葉を目にするようになりまして、が、学生が読むものにもそのような未来を憂うような表現が増えてきているのは、個人的に驚いています。これではみんな将来は不確実な世の中になるものだと思ってしまうのではないかな？ などと思ったりもしています。

最近、思い出したのが、わたしがまだ小学生の低学年だった頃の雑誌で、「小学0年生」というのがあったのですが、その中に「人口がどんどん増えている。このまま増え続けると、O年後には、一人が五十平方センチメートルの広さの中で生活しなければならなくなる」と、崖っぷちまで人の波に押された人が、海に落ちそうになって慌てているイラスト付きのコラムが掲載されていました。それを



読んだわたしは、「これからこの国では人口増加が大問題になってくるんだな」と、小学生ながら思ったものでした。

それは一九七〇年代のことだったので、世の中は大いに代わり、その後いろいろあつて一九九二年には国民生活白書「少子社会の到来、その影響と対応」で初めて「少子化」という言葉が使われたようです。十年以上も時を経ての変化ではありますが、世の中は、あまりにも劇的に変わったように感じます。

ある程度の予想であるとか分析に従って未来へと進んでいくのだと思います。しかし、時に、予想に反する方向に向かうこともあるようです。たしかに、突然、少子化が爆発的に改善されるとは考えにくいのですが、昔は「人口増加」を憂慮していたのに、ほんの四半世紀も経たないうちに、今度は「人口減少」を憂慮する時代になっていきます。そんなことが起こりうるのなら「不確実な未来」というような、何とも暗いイメージを抱かせる未来予想も、何か大きな変化が起これば変わってしまう

しむべき自由闊達にして愉快なる理想工場の建設に「一、日本再建、文化向上に對する技術面、生産面よりの活発なる活動」「二、戦時中、各方面に非常に進歩したる技術の国民生活内への即時応用」「三、不当なる儲け主義を廃し、あくまで内容の充実、実質的な活動に重点を置き、いたずらに規模の大を迫らず」「四、経営規模としては、むしろ小なるを望み、大経営企業の大経営なるがために進み得ざる分野に、技術の進路と経営活動を期する」。

この設立趣意書からは、世の中を何とかしようと使命に燃えた若者たちが、自由闊達に最高度に力を発揮しようとしていたことがうかがい知れます。

最近、よく思うのですが、もし、今の延長としての未来を変えようとするのなら、もし「不確実」と言われる未来を少しでも変えたいと思うのなら、世の中を何とかしたいと使命に燃える実力のある若者が、自由に行動できることが必要なのではないかと考えています。

たしかに、今は若者が自由に行動するには制約がかかることが多い世の中だとは思いますが、それが何とかならないかとも思うのですが、正直なところ、わたしにはまだ分かりません。もしかすると、解決の糸口は時間なのかもしれません。未来を変えるには、実力をつけること。少々乱暴に言い切ってしまうかもしれませんが、大きくは違わないと思います。若者が実力をつけるには、夏という季節は最高です。これから始まる夏。最高度に実力をつけてください。

中学3年生夏期100時間特訓

7月22日(金)～8月31日(水) ☆中1・2年生対象夏特訓も実施！
集団授業と個別受講システムにより、基礎力の徹底・弱点補強をはかるとともに、応用発展問題にひるまない本物の力を養成します。さらに、受験生としての学習習慣を身につけられるよう指導します。香川県統一模擬試験も実施します。
※定員になり次第締め切らせていただきます。(詳しいスケジュールは直接お問い合わせください。)

～100時間特訓を受講した先輩の感想～
苦手な国語の小説の問題が少しできるようになった。連立方程式の活用に自信がついた。活用形をほとんど覚えられた。つづりをまちがえないようにしたい。(A・Tさん)
自分の苦手を克服できたと思う。勉強に集中することの大切さが分かった。映像授業で見た理科では、いろんな法則を根本から理解できたのでテストでもとても役に立った。(R・Sさん)
自分から進んで教科書を開き、毎日継続して勉強できた。数学では、苦手だった証明問題の解き方、合同条件の見つけかたなどを、しっかり身につけられた。英語では、様々な表現技法を覚えられた。(K・Tさん)
苦手だった理科のイオン、電流のところの計算ができるようになった。集中力がついた。家でいたらゴロゴロして勉強できなかったと思うけど、夏期講習で長時間勉強できてよかった。(Y・Mさん)
むずかしい問題もあきらめずにきちんと考えることができるようになった。夏特訓に参加して、受験に向けて、勉強する習慣がついた。(A・Yさん)
苦手教科である国、社の点が上がり、第1回の診断と比べて、第2回は点がかなりのびました。苦手なところと得意なところを両方とものばすことができて、よかったです。(Y・Sさん)

「この夏一気にレベルアップしたい!!」という高校生の皆さん!

片桐塾を120%活用しよう!!

役立つコンテンツがいろいろあります。どの教科のどんなところで悩んでいるのか、お気軽にご相談ください。(LINEでもどうぞ!)

片桐英数塾からのお知らせ

天神教室・坂本教室の7月のお休みは、

3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)、31日(日)です。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

塾生の皆さんで LINE 登録がまだの方は、こちらのQRコードを読み取り、名前を送信してください。映像授業の予約、変更や面談などの予約、欠席のご連絡などLINEでいつでも受付けています。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

